

お知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

超早産で出生した単胎児と双胎児の動脈管に対するインドメタシン治療有効性に関する後ろ向き研究

【研究機関】

仙台赤十字病院新生児科

【研究責任者】

三浦 雄一郎（仙台赤十字病院 新生児科副部長）

【研究代表者】

小野 寿和（仙台赤十字病院 新生児科）

【研究の目的】

過去、当院新生児科に入院した超早産（妊娠28週0日より早く出生した）児の診療録（カルテ）情報を収集し、単胎児と双胎児における動脈管開存症に対する治療の有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は動脈管開存症に対する有効な治療方法の検討を目的としたものであり、今後産まれてくる赤ちゃんの診療に役立つものと考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2010年11月1日から2019年6月30日までに当院NICUに入院された方のうち、妊娠28週0日より早く出生したお子さん。

（利用するカルテ情報）性別、出生前後の状況、出生後の経過、インドメタシンによる治療回数、動脈管結紮術施行の有無、合併症など。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所などお子さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会などで発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「お子さんの診療録(カルテ)は除外してほしい」と望まれる方は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

仙台赤十字病院新生児科 三浦雄一郎

TEL: 022-243-1111